

共感・交流・健康

ふくしま再生短信 2016 3/8 (第12号)

2/29 健康医療チーム同行記

仮設住宅

2016年2月1日現在、944人の村民が10ヶ所の仮設住宅に避難している。今回訪問したのは「松川仮設第一住宅」で170人が避難生活をおくっている。借り上げ住宅などの各施設への避難者を含めると施設合計の避難者数は3,850人である(飯館村役場HPから)。

【カット写真(左上から時計回り)】内科医・相澤力さんによる講話「知っておきたい糖尿病の基礎(1)」、足のケアをしながら語りかける介護福祉士・松田純子さん、足のケアの前に体操を呼びかける看護師・若佐実枝子さん(右)、神妙に整体を施す斎藤快運さん(右)、似顔絵を描く杉山百合子さん(右)、自治会長・木幡一郎さん(右奥)を交えて健康医療相談を受ける相澤力さん(左)、全体会司会の臨床心理士・中町芙佐子さん。

【背景写真】足のケアに注力する看護師・八木優子さん(中央)と飯館村から応援に駆けつけた菅野永徳さん(右)。

2016年2月29日朝8時40分、ふくしま再生の会健康医療チームはこの日の活動会場の福島市松川工業団地にある松川仮設第一住宅集会場に到着した。管理人の高橋よう子さん、仮設住宅の自治会長・木幡一郎さんが出迎えてくれる。チームリーダーの中町芙佐さんとは既に旧知の仲である。

今回企画に参加した村民は16人。健康医療チームは11

人。午前9時、中町さんの司会で全体会が始まる。最初は整体師・斎藤快運さんによる10分ほどの全身体操。続いて内科医師・相澤力さんの「糖尿病」についての講話、生命活動の基本から始まり病いのメカニズムに至る丁寧で優しい語り口の30分だった。全体会のあと内科医・相澤さん、精神科医・三吉譲さん、精神保健福祉士・北村充成さんがそれぞれに健康医療相談を受

ける。足のケアを始めとする多彩なプログラムが生命のリズムに寄り添う穏やかな時間の流れの中で進行した(上記写真をご覧ください)。

特筆したいのは井上泰助さんと岸田峻太郎さん、2名の若き東大院生の協力、菅野永徳さんの応援参加である。仮設の集会場は活気ある交流の場となり、正午にすべての予定を無事に終えることができた。(撮影・文責:若林一平)

内科医・相澤力さん講話「知っておきたい糖尿病の基礎(1)」(当日の動画) http://miyoshiyuzuru.net/160229_094722.3gp